

先端的科学計算に関するフォーラム2006報告：「夏の研究奨励キャンペーン」成果発表会を兼ねて

藤野, 清次
九州大学情報基盤センター：副センター長

<https://doi.org/10.15017/1467685>

出版情報：九州大学情報基盤センター広報：全国共同利用版. 6 (3), pp.174-175, 2007-03. Computing and Communications Center Kyushu University

バージョン：

権利関係：

先端的科学計算に関するフォーラム 2006 報告 ～「夏の研究奨励キャンペーン」成果発表会を兼ねて～

日頃、情報基盤センターの諸活動に暖かいご支援とご協力を賜わり有難うございます。九州大学情報基盤センターでは、研究用計算機として、スーパーコンピュータ 富士通 VPP-5000/64, スカラ並列サーバ GS-320/32 そして高性能演算サーバ IBM eServer p5 model 595 を現在稼働させ、研究者の皆様に使って戴いております。また、利用者相互の利用情報の交換の場として、2006年10月中旬に以下の「先端的科学計算に関するフォーラム 2006」を開催しました。

- 先端的科学計算に関するフォーラム 2006
(～夏のキャンペーン成果発表会を兼ねて～)
 - － 月日：2006年10月19日(木) 13時～17時30分
 - － 会場：九州大学情報基盤センター 第一会議室



講演件数は全部で10件を数えました。フォーラムには、外部からの参加者16人にセンター内の関係者が加わり、また各講演では活発な質疑応答がなされ、盛況のうちにフォーラムを終えることができました。本センターからは、線形計算に関するソフトウェアの紹介および「反復法と前処理 Q & A」の講演が行われました。

さらに、講演者並びにキャンペーン参加者の方々の多大なご協力を得て、以下の通りキャンペーン報告書5件と招待講演原稿3件を広報誌に掲載することができました。ご協力を戴いた関係者の方々(敬称略)に心より感謝申し上げます。

夏のキャンペーン報告会

1. 「台風初期渦形成について」
中野 満寿男(九州大学理学府地球惑星科学専攻)
2. 「準球座標系差分法による全地球地震波伝播モデリング - マルチドメイン化 - 」
豊国 源知(九州大学理学府地球惑星科学専攻)

3. 「有限要素法による室内音場解析に関する研究
大規模多目的ホール内部音場の試行的解析」
岡本 則子 (大分大学ベンチャービジネスラボラトリー)
4. 「有限要素法による室内音場の時間応答解析に関する研究」
奥園 健 (大分大学大学院工学研究科環境工学専攻)
5. 「磁気ノズルからのプラズマデタッチメントに関する数値解析」
川淵 亮 (九州大学総合理工学府先端エネルギー理工学専攻)

招待講演

1. 「OpenMP による並列計算とその応用例」
牛島 省 (京都大学工学研究科)
2. 「海溝型地震の津波シミュレーション」
藤井 雄士郎 (独立行政法人 建築研究所 国際地震工学センター)
3. 「システム生物学研究のための並列コンピューティングシステムの設計
遺伝子ネットワークの相互作用推定と
細胞内情報伝達システムの解析を例にして」
岡本 正宏 (九州大学大学院農学研究院)

今後とも情報基盤センターの諸活動に皆様の暖かいご支援とご協力を賜われますよう重ねてお願い申し上げます。

情報基盤センター副センター長
藤野 清次

課金体系に関するご質問に答えて:

フォーラムにおいて課金体系に関するいろいろなご質問がありましたが、VPP5000 に代わる新しいスーパーコンピュータが本年 6 月より稼働が開始されます。新システムでは従来と比較して非常に安価な課金体系と豊富な計算機リソースが提供できる予定です。どうぞご期待下さい。